

みんなの力で
住みよい湖山に



がんざ

町内会数 22地区
加入戸数 1520戸

第20号

◆発行◆湖山地区自治会 ◆発行責任者◆自治会長 西端豊嗣 ◆編集◆自治会総務広報G ◆湖山地区自治会ブログ◆<http://wind.ap.teacup.com/imagine/>



10月2日、澄み渡る青空の下、コロナ対策万全で「健康ウォーク」が開催されました。(参加者57名)



みんなで作ろう! 元気な湖山

コロナに負けないぞ!

元気はつらつ!!

新型コロナウイルス感染予防のため、春・夏はイベントを見合わせたことで運動不足になりがちでしたが、秋を迎えたこの日この時、湖山池公園において、ストレッチ・しゃんしゃん体操などを行い、心身ともにリフレッシュできました。

健推恒例の『お楽しみじゃんけん大会』では、大きな笑い声が響きわたり、公園は元気パワーで満たされました。

コロナ禍で活動自粛が強られる年でしたが、皆様の温かいご支援・ご協力をいただき、『健康ウォーク』を実施することができ感謝しています。

健康づくり推進員協議会会長 影井 典子



令和2年度 コロナ禍での自治会体制です！

自治会長の就任にあたって

自治会長 西 墻 豊 嗣



自治会(町内会)は、一定の区域に住所を有する「つながり」に基づき組織され、全住民は参加する権利(義務ではない)を持っています。そして、住民一人ひとりの人権が尊重され、住民相互が親睦を図り連帯意識を持つことにより、心ふれあう豊かで明るく住みよい地域社会づくりや、地域の課題解決へ向けた活動が繰り広げられます。

かつて自治会(町内会)では、地域環境の整備、交通安全や防犯の活動、住民参加の行事など、「世帯を超えた領域での活動を行う」という役割分担ができていました。しかし近年、単位となる世帯の人数が減り、日々の仕事や生活に追われるなか、地域の情報も少なく、直接関係がないことに関わる余裕のない世帯が増えてきました。

その結果、加入率の低下、役員のなり手不足、行事参加者の減少等の問題がますます強まり、従来どおりのやり方では、組織の存続条件を欠く事態に追い込まれかねません。

そこで、これからの自治会の取り組みとして、住民の皆様へ自治会(町内会)に対する理解と関心を持ってもらうため、情報発信の重要性を念頭に、問題点を提起し議論して、住民みんなが協力して多様な役割を担い合う体制づくりに努めてまいります。どうか皆様のご理解とご協力をお願い致します。

令和2年度自治会区長代議員

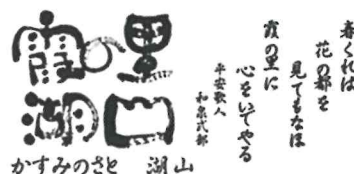
青 葉 台	影井 佑樹
松 ケ 丘	縄田 昌彦
茶 屋 一 区	吉田 淳
茶 屋 二 区	山根 健夫
茶 屋 三 区	奥村 春樹
茶 屋 四 区	高島 忠明
二 本 松	森田 直弥
浜	西墻 豊嗣
新 島	川 邨上 英幸
井 津 水	川 影井 一清
さ ざ な み	水 溝口 稔康
駅 前 一 区	大城 満
駅 前 二 区	村上 征男
駅 前 三 区	加納 聡
大 石 橋	徳村 弘二
南 二 丁 目	井中 優美
南 二 丁 目 南	景井 和広
南 団 地	福井 努
南 通 り	福田 和男*
さ か え	深本 大輔
農 高 南	真山 竜郎
	柳清 正男

*: 副区長



各種団体長	
団体名	氏名
青少年育成湖山地区協議会	小野 勇一
老人クラブ連合会	森下 豊
人権啓発推進協議会	田中 忠義
体 育 会	山本 新吾
壮 年 団	木下 知直
湖山小学校教育協議会	福山 洋
湖東中PTA湖山支部	田中 敏晴
社会福祉協議会	田中 忠明
民生委員児童員協議会	塚本 良雄
健康づくり推進員協議会	影井 典子
食育推進員会湖山地区	山崎 節子
地区自主防災会	塚本 良雄
交通安全協会湖山支部	山下 均
消防団湖山分団	中村 哲也

まちづくり委員(公募)代議員	
所属地区	氏名
茶屋三区	本庄 和志
茶屋三区	山下 竜一
井津水	村上 豊彦
南二丁目	高橋 智一
南団地	岡野 晴行
南団地	小林 茂
南二丁目南	門脇 和子
新 川	中川 浩作
松ケ丘	澁谷 安佐子



湖山地区
自治会ブログ

<http://wind.ap.teacup.com/imagine/>

↑QRコード
PC・スマホでも閲覧できます。

湖山地区自治会ブログ 検索

じげの人 紹介コーナー① 「子どもたちに将来を教える人」 企画・編集/総務広報G

今回紹介するのは、谷口美和さんです。学習塾で子どもたちひとりひとりと向き合い、勉強だけでなく将来についても教えている谷口さんに、子ども育成の流儀やこれからの夢などについてお聞きしました。聞き手:総務広報G長 中川浩作

聞き手 日本海新聞の読者広場「潮流」に、学習塾 Bench mark 塾長として二年間寄稿されましたが、毎回、大きな反響があったと聞いています。

谷口 私が教育の現場で感じていることを、わかりやすく柔らかく書きました。「働くって、かっこいい。」の出版が投稿のきっかけでしたが、自分が伝えたいことを「潮流」を通して、どんどん発信したかった。掲載後は、喜びの感想を多くいただき嬉しかったです。



日本海新聞 R2.10.1

聞き手 「働くって、かっこいい。」王版の狙いは?

谷口 私の塾では、勉強だけでなく、将来についても教えています。将来の進路について、教え考えさせることを「キャリア教育」と言います。子どもたち向けにキャリア教育の教科書を作り、卒業生の言葉を通じて、いろいろな仕事があることを知ってもらい、将来の不安をなくしてもらいたいと思います。出版しました。子どもたちには、よく考えて仕事に就いてもらいたい。なんとなく就職するのではなく、目標や夢を持って努力し、一生懸命になることを望んでいる。



谷口さんの著書 R2.3.21出版

聞き手 塾で生徒と関わるなか、今の子どもたちはどのように目に映っていますか?

谷口 今の子どもたちは、様々な情報の中で生きている割には、どういっわけか物を知らなさ過ぎる。自分の好きなことだけに邁進し、それ以外のことに興味を示さない、そんな風に見える。また、ゲームや YouTube が遊びの中心なので、それも勉強の仕方に影響している。過程をすつ飛ばして答えをすぐ求めたり…。何に対しても熱い子が減ってきている。

聞き手 子どもたちには、どのように接していますか?

谷口 どうしたら目標を持たせることができるのかを常に考え接している。生活態度に関しては、しつこく諦めず注意をし続けている。特に、他者を認め受け入れることは大事で、小さい時から教えるなければならぬこと。他者を悪く言ってしまうことがあるが、「自分がいけなかった、怒らせてしまったと気づいてもらえるよう、その都度説教している。」

聞き手 子どもたちとの関わりで注意していることは?

谷口 子どもたちは、この塾で学校の不満を話してくれて、学校では生徒が多過ぎて、先生が一人一人見ることは困難。ここでは、子どもひとりひとりの声をしっかりと聴き、「あなたをきちんと見ています」と感じてもらえるようにしている。子どもはサインを出している。ひとりひとりの顔を見て、声を聴いて、もれなくサインを察知するようにしている。



聞き手 学習塾を始めたきっかけは?

谷口 大学生の時、国語教師を目指していた。教育実習で湖東中に入ったとき、前向きな若手教師と後ろ向きなベテラン教師と、完全に二つに分かれており、理想とは全くかけ離れた現場の実態に愕然とした。教員免許を取ったものの、卒業後は民間などで働いた。あるとき、塾の仕事に頼まれしばらくした頃、アルファブレンズ湖山教室の塾長を任された。そして平成十五年に「Bench mark」を立ち上げた。

聞き手 塾名「Bench mark」に込められた思いは?

谷口 測量用語に、こしらえた目標に向かうために目印をつけていくベンチマーキング作業」というのがある。卒業した後、この塾でどれだけ頑張っていたか、将来の目標に向かう上での目印になる場所であってほしい。

聞き手 塾の先生を長く続けられていますが、その原動力は何?

谷口 仕事のため家族を犠牲にしてきた後悔と、子どもたちを大切にしない社会に対する怒りを持ち続けてきたことだと思ふ。毎日が夜遅い仕事であるため、家事は夫と分担制で、二人の子どもたちには寂しい思いをさせてきた。それでも私の仕事を理解し応援してくれているから、とことん頑張ろうと思える。また、虐待やいじめの多い社会を何とかしなくちゃと、毎日何かと闘っている気がする。そういう奮闘姿を、塾生や保護者さん、卒業生たちが笑って見守ってくれている気がする。



聞き手 これからの夢は何?

谷口 小学生が帰る時間帯に公民館等の部屋を借り、家庭で宿題ができない子を見てあげたい。もちろんボランティアア。家庭で宿題ができない子はそれぞれ理由を抱えている。宿題ができず周りから叱られる苦痛から子どもを解放してあげたい。元気があろうちにそういう場を作りたい。

聞き手 地域や自治会に期待したいことは?

谷口 子どもたちが活発に動ける取組をしてほしい。学生と子どもたちが何かの形でつながるとか、特徴あるイベントや活動ができるようになってほしい。そういう機会は、子どもたちが進路を考える大きなきっかけになる。子どもは大事。地域でも大事に育ててほしい。街をあげて子どもたちを育てるとか、交流を上手にさせるとか、そういう取組で学園のモデル地区になれば、「かっこいい」。

おとがけ

子どもの心は、良い指導者のもとで、強く大きく正しく成長するもの。これからも熱い想いのもと、しっかりとした未来を創る人材を育ててほしいと思います。



わがまちパンザイ!!

湖山地区内の
町内会紹介コーナー



南2丁目南町内会



南2丁目南町内会は、昭和54年7月に設立され、今年で41年目となります。現在54世帯、会員168名で高齢者、現役世代とある程度均一の取れた構成になっています。スーパーマーケット、湖山駅、湖山小学校、湖山神社、湖山池は案外近い位置にあり、町内会の真ん中に小さな公園があります。

町内会が行う主な行事としては、春、秋は一斉清掃と消火訓練、夏は公園で納涼祭、冬はとんど焼きを毎年実施しています。ただ今年は新型コロナウイルス拡大防止のため、殆どの行事は縮小ないしは中止になりましたが、普段、顔を合せる機会が少ない中で、これらの行事を通じてお互い同士のコミュニケーションを図るために、これからも継続していきたいと思えます。又同時に年寄りから子供まで楽しめる企画を考えたいと思えます。



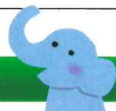
間違いなく今後、我が町内会でも少子高齢化が進み、高齢者一人世帯が増えると思えますので、お互い隣近所に対しての気遣い、「おはよう」、「こんにちは」の挨拶がある町内会を目指したいと思います。(南2丁目南区長 福井 努 記)



樺(あらき)の家



青葉台町内会



湖山町北6丁目にある青葉台は、昭和51年に東部不動産が造成しました。現在の世帯数は64世帯です。

ほとんどの地域が住宅ですが主な施設としては、よしだ内科 と 亀田正一記念館「樺(あらき)の家」があります。

樺の家は川上奨励賞や、鳥取市文化賞を受賞した鳥取の洋画家である亀田正一さんの作品が数多く展示しているギャラリーです。

三角屋根のオシャレな山小屋風の建物は、中に入るとシンと静まり返った

落ち着いた空間。そして大きなキャンパスに描かれた力強い油絵は、観ていて音がするような臨場感を与えてくれます。作品は私たちになじみのある日本海の風景から、おしゃれなイタリアの街角の風景など様々。絵に興味のある方は一度足をお運びいただくことをお勧めします。

平成23年から新たな造成が行われ、新しい入居者も増え

てきているので、少しずつ地域の行事を増やして、笑顔あふれるまちづくりができればいいなと思っています。

(青葉台区長 影井 祐樹 記)

